

## ◇2014年度実施の海外・訪日教育旅行の実態とまとめ（中・高）◇

### 1. 海外・訪日教育旅行調査の概要

#### (1) 調査時期

平成 27（2015）年 2 月～3 月

#### (2) 調査方法について

海外・訪日教育旅行については、2011 年度分データまで全国の都道府県並びに政令指定都市の教育委員会及び私立学校所管箇所（機関）に依頼していたが、2012 年度分データより、国内修学旅行調査と同様に、全国の国立・公立・私立等の高等学校・中学校を対象とし、調査校を抽出し、海外教育旅行・訪日修学旅行についてそれぞれ回答を依頼した。

従って海外・訪日教育旅行の全般的な動向を示したデータとなり、2011 年度以前のデータに対し実数の比較が難しい調査項目があることをご了承願いたい。

### 2. 海外教育旅行の調査項目

#### (1) 海外修学旅行

- ・実施学年                      ・実施月                      ・旅行目的                      ・訪問国・地域・訪問都市
- ・宿泊数・旅行費用    ・学校間交流内容    ・課題と問題点

#### (2) 修学旅行以外の海外教育旅行

- ・実施学年                      ・実施時期                      ・訪問国・地域
- ・宿泊数・旅行費用    ・参加形態                      ・課題と問題点

ここではその一部を抜粋して紹介する。なお詳細についてはデータブック教育旅行年報をご覧ください。

表-4 海外修学旅行の訪問国・地域

2014年度		国名・地域	2013年度	
順位	件数		順位	件数
1	45	台湾	2	36
2	43	オーストラリア	3	34
3	41	シンガポール	1	52
4	33	ミクロネシア	5	33
5	31	マレーシア	3	34
6	25	ハワイ	7	15
7	23	アメリカ本土	7	15
8	18	韓国	6	23
8	18	他のヨーロッパ	15	7
10	14	英国	11	11
11	13	カナダ	13	10
12	12	他のアジア	9	13
13	8	フランス	11	11
14	7	ニュージーランド	10	12
14	7	中国	14	8

※実施件数は中学・高校の延べ件数合計

※1校で訪問国・地域が複数になる場合は、それぞれに件数をカウントした

海外修学旅行の主な訪問国内における訪問都市順

順位	1位		2位		3位		4位		5位		6位		
	訪問国・地域	訪問都市	件数	訪問都市	件数	訪問都市	件数	訪問都市	件数	訪問都市	件数	訪問都市	件数
中国	香港	4	マカオ	2									
韓国	ソウル	15	釜山	7	慶州	6	仁川	2	儒城	2			
台湾	台北	45	桃園	7	九份	4					花蓮	2	
			台南	4						新竹	2		
			高雄	4						台中	2		
オーストラリア	シドニー	19	ケアンズ	18	ブリスベーン	8	ゴールドコースト	5	メルボルン	3	アサートン	2	
ニュージーランド	オークランド	7	ロトルア	5	ケンブリッジ	2							
			ハミルトン	2									
			ワイトモ	2									
アメリカ本土	ロサンゼルス	13	シアトル	4			アナハイム	3					
	ボストン	4					サンディエゴ	3					
カナダ	バンクーバー	11	ビクトリア	4	トロント	2			ポートランド	3			

※ 複数の主要な訪問都市がある国に限定し、上位6位までを集約(2件以上の都市)

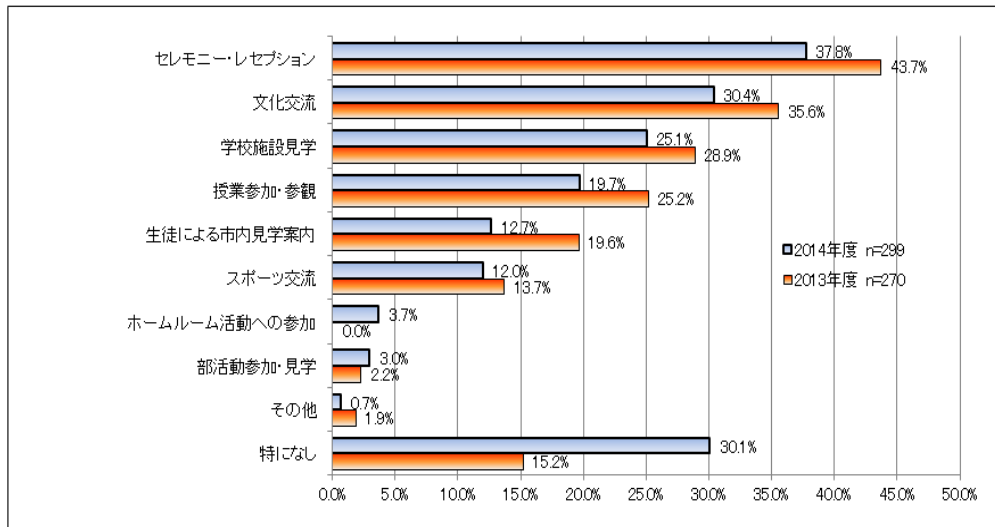
※ 訪問都市: 宿泊都市と見学都市の合計

海外語学研修旅行の主な訪問都市

順位	都市	国・地域	件数	前回順位
1	ブリスベーン	オーストラリア	33	5
2	ロンドン	英国	28	2
3	シドニー	オーストラリア	23	1
	オークランド	ニュージーランド	23	3
5	バンクーバー	カナダ	18	4
6	ゴールドコースト	オーストラリア	15	—
7	メルボルン	オーストラリア	14	—
8	ホノルル	米国(ハワイ)	10	—

※ 訪問都市: 宿泊都市と見学都市の合計

海外修学旅行の学校間交流内容(複数回答)



※海外修学旅行の実施件数を分母とした比率

※「ホームルーム活動への参加」は、2013年度統計では「授業参加・参観」に含まれていた。